

令和6年度活動報告(焼岳火山防災協議会構成機関の取組)

○令和6年度に協議会構成機関が実施した焼岳火山防災対策の取組

1 避難対策

種類	実施項目	実施主体	概要	実施時期
1	初動対応訓練	松本広域消防局	①5月末から火山性地震が多い状態が続いていることから、梓川消防署安曇出張所において焼岳火山防災避難計画及び松本市地域防災計画に基づき噴火警戒レベルに合わせた活動内容と大規模な噴火災害が発生した場合における消防広域応援体制についての確認、さらに使用資機材の諸元確認、取扱いの実施 ②焼岳周辺における消防デジタル無線、携帯電話及び衛生電話の通信エリアの確認	①R6.6~8 ②R6.9
2	初動対応訓練	中信森林管理署	非常時参集体制及び災害応急対応体制の確認。衛星携帯電話等の通信連絡網や自家発電設備等の資材や携行品の確認。被害状況に関する情報収集体制、関係機関との連絡体制の確認。災害復旧用木材等の調達・供給体制の確認。林道の配置や入林届など避難対策に資する森林情報の関係機関への提供及技術支援体制の確認。	R6.9
3	無線通信訓練	上高地町会防災部(上高地消防隊)	噴火による火山弾や土砂崩れにより、通信回線が遮断された場合を想定し、上高地の主な施設に配置された無線機により、情報収集、安否確認、傷病者情報を共有し、衛星携帯電話により対策本部へ連絡する為に、消防隊員以外のスタッフも含め、通信訓練を行った。	R6.10.22
4	焼岳火山防災訓練の実施	高山警察署	高山市主催の令和6年度焼岳火山防災訓練に高山署独自の取り組みも入れて参加。 ・避難誘導訓練:パトカーを使用し、避難地域で実際に広報をして避難訓練の参加を呼びかけた ・交通誘導訓練:避難車両が集中する交差点にて、当署職員による手信号での交通誘導を実施 ・要支援者避難訓練:要支援者が避難を拒否した場合を想定し、説得、即時強制的に避難させる訓練 ・現状に即した図上訓練:災害対策本部において、当署職員、地元駐在所職員が参加し、警察の立場より報告、意見等を実施。想定では登山道で動けなくなった登山者を自衛隊と協力して避難させるなどを実施。	R6.11.9
5	焼岳火山防災避難訓練	奥飛騨温泉郷観光協会	当訓練は、焼岳の噴火活動に対する地域住民並びに観光客等の安全を確保するため、官民の連携による初動対応の確認及び防災意識の向上を図ることにより、有事に備えた迅速かつ確実な避難体制の構築を図り、もって火山災害に強い奥飛騨温泉郷のまちづくりを推進することを目的とした訓練として実施。訓練当日は、宿主や観光施設・飲食店等の従業員を含めた地域住民が参加し、町内会や関係団体との連携を図るとともに、住民避難行動訓練や避難所受付訓練等を実施した。	R6.11.9
6	焼岳火山防災避難訓練への参加	高山市、焼岳火山防災協議会	奥飛騨温泉郷地区の住民を対象とした避難訓練、避難所生活体験訓練、展示パネルの見学、火山防災エキスパートによる講評など	R6.11.9
7	客車内救助訓練 火災避難訓練	新穂高ロープウェイ	(目的) 災害によるゴンドラ緊急停止時に対する救助及び避難誘導訓練 火災発生時の初動対応の確認及び迅速かつ確実な避難訓練の実施 (成果) 従業員20名が参加 (課題) 突発的な自然災害発生時の連絡体制及び正確な情報共有、指示命令系統の確認	R6.11

種類	実施項目	実施主体	概要	実施時期
8	焼岳調査登山	松本市	避難施設設置検討のための現地調査 ・林野庁、環境省、岐阜県、高山市、松本市文化財課・アルプスリゾート整備本部の参加により実施 ・上高地側登山口から入山し、新中尾峠、中尾峠、北峰頂上周辺、リンドウ平等にて現地調査を行い、新中の湯登山口に下山 ・現地確認、ドローンによる上空からの撮影等の現地調査を実施し、避難施設設置検討のための参加関係機関との協議を実施した	R6.9.20
9	防災シェルター設置等に係る合同現地調査	松本市 高山市 林野庁中信森林管理署 環境省上高地管理官事務所	目的: 焼岳火山防災対策の一環として松本市で設置の検討をしている避難等壕の設置箇所等について関係行政機関同行のもと現地視察(調査・協議等)を行うもの。また、同時に登山者数調査等利用状況の調査を行うもの 参加機関: 松本市、高山市、林野庁中信森林管理署、環境省上高地管理官事務所	R6.9.20
10	焼岳登山者数調査	松本市	避難施設設置検討のための登山者数調査 ・高山市、中尾町内会、環境省の協力のもと、中尾高原登山口、新中の湯登山口、上高地側登山口において二次元コードを掲載した看板を設置、登山者にオンラインフォームにアクセスしてもらう形式により調査を実施 ・10月の3連休(10.12-14)に実施し中尾高原登山口13名、新中の湯登山口196名、上高地側登山口76名との結果が得られた ・登山アプリの山行記録を対象とした集計結果とあわせて避難施設設置検討のための参考資料とした	R6.10.12~14
11	火山に関する情報の発表	東京管区気象台 (気象庁地震火山部火山監視課火山監視・警報センター)	2024年6~7月に山頂付近の微小な地震が増加したため、火山の状況に関する解説情報、火山の状況に関する解説情報(臨時)を発表し、火山活動状況及び防災上の警戒事項(登山の際の注意点)等をお知らせした。	R6.6.2~R6.7.17
12	火山に関する情報の発表に対する対応		焼岳の火山性地震増加によって火山の状況に関する解説情報・解説情報(臨時)が発表されたことに伴い、事務局構成機関で情報共有の会議を開催	R6.6.2~R6.7.17
13	火山に関する情報の発表に関する対応	岐阜・長野地方気象台	火山の状況に関する解説情報が発表されたことに伴い、県内関係機関へ電話・メールによる情報伝達、解説等を実施した。	R6.6.2~R6.7.17
14	焼岳火山解説情報(臨時)の周知	上高地町会防災部(上高地消防隊)	焼岳火山解説情報(臨時)の発表により、各入山口へ注意看板(登山は控えて)の掲出及び宿泊客への案内	R6.6.7~R6.7.17
15	火山に関する情報の発表に対する対応	松本市	火山の状況に関する解説情報(臨時)が発表されたことに伴い、 ・ホームページ、市公式LINE、X、Facebook、市登録制メールサービスにて情報発信 ・各関係機関への情報伝達 ・規制表示看板設置	R6.6.7
16	焼岳噴火警戒レベルに応じた初動対応要領の作成と共有	松本警察署 警備課第一係	焼岳の火山性地震回数増加に伴い、レベル引き上げを想定した避難対策、交通規制等の初動対応要領を示したチャート図を作成し、署員及び管轄の交番駐在所に共有を行った。	R6.6
17	火山土地条件図「焼岳」の整備及び公開	国土地理院	長野県と岐阜県にまたがる「焼岳」(やけど)において、火山地域の地形の成り立ちを表し、火山災害リスクの把握等に役立つ火山土地条件図を整備し、令和6年6月14日からHPに公開した。	R6.6

2 啓発対策

	種類	実施項目	実施主体	概要	実施時期
1	広報活動	地デジ・データ放送及びサイネージによる広報・啓発	岐阜県	地デジ・データ放送及び県内デジタルサイネージによる広報・啓発の実施 内 容: 焼岳を含む県内の活火山について、登山届の提出、活火山であることの周知、必要な備えについて地デジ・データ放送及び県内デジタルサイネージにて広報・啓発	通年
2		「火山防災の日」広報活動	岐阜・長野地方気象台	市町村首長訪問、出前講座で「火山防災の日」を紹介した。	通年
3		市公式ホームページへの掲載	松本市	市公式ホームページにおいて焼岳の噴火警戒レベル等の火山活動状況を常時掲載	通年
4		県警ホームページへの掲載	長野県警察本部	県警ホームページ内に「火山災害に備えて」と題した項目を掲載し、啓発活動を実施	通年
5		教養資料の発出	長野県警察本部	部内教養資料を発出し、県警組織内での啓発活動を実施	通年
6		火山防災フォーラムの開催	新穂高ロープウェイ	焼岳が活火山であることを理解させるためにハザードマップの掲出。 また安全な登山を行うために登山者を対象に館内やゴンドラ内で情報提供の実施。	通年
7		安全登山啓発	岐阜県	北アルプス登山口における安全登山啓発活動 参加者: 岐阜県、岐阜県警察本部地域課、高山警察署、北アルプス山岳遭難対策協議会 内 容: 春山(4月27日)、夏山(8月11日)、冬山(12月28日)の時期に、新穂高登山指導センター前にて、登山者に対し、登山届提出の呼びかけ、服装・装備品の確認等の啓発を実施	R6.4.27 R6.8.11 R6.12.28
8		広報物の作成・配布	岐阜県	各種山岳・火山啓発広報物を作成・配布を実施 ・北アルプス登山マップ 6,000部 R6.6 ・北アルプス登山ガイドブック 2,000冊 R6.6 ・北アルプス登山ガイドブック(英語版) 1,000冊 R6.9 ・岐阜県山のグレーディング 3,000部 R7.1(予定) ・火山を知る本 1,500冊(3種(小学生用2種、中学生用1種)×500冊) R7.2(予定)	R6.4.27 R6.8.11 R6.12.28
9		署員に対する教養	高山警察署	署員に対して、「管内の火山の所在、危険性等の教養」「行政との連携について」「噴火レベルごとの対応要領や被害想定について」「御嶽山噴火時の初動対応職員による体験談の講和」等教養を実施。	R6.6.3 R6.8.30 R6.11.13
10		広報啓発イベントへの出展	岐阜県	第10回夏山フェスタへの出展 場 所: ウィンク愛知(名古屋市) 参加者: 岐阜県、石川県、岐阜県警察本部地域課 内 容: ブース出展を行い、来場者約5,000名に対し安全登山の啓発活動を実施	R6.6.8~9
11		テレビ番組(ぎふ県政ほっとライン)による啓発	岐阜県	テレビ番組(ぎふ県政ほっとライン)による「登山届の提出」に係る啓発の実施 放送日: 令和6年6月6日(木) 内 容: 山岳遭難事故の多い北アルプス及び活火山の御嶽山、焼岳、白山、乗鞍岳の登山者に義務付けられている登山届の提出について、夏山シーズン前に県民に周知を行う。	R6.6
12		火山の成り立ちがわかる火山土地条件図「焼岳」を公開	国土地理院	過去の火山活動により形成された地形や噴出物(溶岩流、火砕流、スコリア丘等)の分布、噴火後の浸食地形や堆積地形(崩壊、地すべり、岩屑なだれ堆積地、火山麓扇状地)などの火山の地形分類等を表示した火山土地条件図「焼岳」を公開	R6.6

種類	実施項目	実施主体	概要	実施時期
13	山岳専門誌及びフリーペーパーによる啓発	岐阜県	主要山岳専門誌及びフリーペーパーによる登山届提出啓発を実施(予定含む) <山岳専門誌> ・岳人3月号(R7.2予定) ・山と溪谷3月号(R7.2予定) <フリーペーパー> ・SARUBOBO3月号(R7.2予定)	R7.2
14	安全登山啓発	岐阜県	安全登山啓発を目的に「北アルプス安全登山アピール2024」を東京都にて開催 参加者:東京会場49人 ライブ配信350人(最大) 内 容:岐阜県、富山県、長野県の三県合同による安全登山啓発	R6.7.6
15	「「山の日」四方山祭りin上高地」での焼岳紹介	松本砂防事務所 他	「山の日」前後に上高地において観光客や登山者に山岳に関する課題等の周知を図るために開催。 (内容) 活火山「焼岳」の成り立ち等パネル展示及び、焼岳監視カメラ動画閲覧。	R6.8.3~18
16	上高地ビジターセンターミニトーク「焼岳と火山のお話」	上高地パークボランティア 環境省上高地管理官事務所	火山防災の日に合わせて、焼岳の特徴や御嶽山の噴火事例、登山時の安全対策といった内容を学ぶことができるセミナーを上高地ビジターセンターで開催 講師:小口 貴広さん(御嶽山火山マイスターの資格を有するパークボランティア) 参加人数:10名	R6.8.26
17	テレビ媒体・ラジオ媒体を活用した広報	岐阜県警察本部	・火山災害への意識高揚と被害防止を図るため、地元の岐阜放送テレビ:ラジオにおいて、「火山防災意識の高揚」と題して、 ○ 岐阜県には御嶽山・白山・焼岳・乗鞍岳・アカダナ山の5つの活火山があります ■ 火山の周辺にお住まいの方 ・「火山防災マップ」で噴火時の危険箇所や避難場所を確認 ■ 登山をされる方 ・事前に気象庁が発表する最新の火山活動情報等の確認 ・必ず登山届を提出 ・ヘルメットなど噴火に備えた装備品を持っていく 等を内容とする広報啓発活動を実施	R6.8.16 岐阜放送 R6.8.16 岐阜チャン (岐阜放送)
18	「信州 火山防災の日」広報活動	長野県危機管理部	「信州 火山防災の日」を契機に、県民等の火山防災意識の向上を図るため、ラジオ番組やHP等により、「信州 火山防災の日」の広報や火山防災の取組及び行事を紹介 【ラジオ番組】 ・実施日:令和6年8月23日 ・内 容:火山登山時の際の注意事項、信州火山防災の日の紹介 等 【プレスリリース・HP等での広報】 ・内 容:県内で実施される火山防災に関連した行事等を一覧表にまとめ情報発信 【広報物品の作製】 ・「信州 火山防災の日」の広報用物品(ウエットティッシュ、ポスター)を作成し、県内イベントや庁舎等で配布・掲示	
19	ラジオ媒体を活用した防災広報の実施	高山警察署	火山災害に備えるために「高山警察署からのお知らせ:火山災害」と題して、飛騨地区において広く聴講されている地方ラジオ局「Hit FM」で、「火山の現状について」「普段の備えについて」「避難の方法について」等広報を実施。	R6.9/12.14.15
20	「信州 火山防災の日」記念イベントの開催	長野県危機管理部	国関係機関(国土交通省利根川水系砂防事務所、気象庁)や御嶽山火山マイスターと連携し、「信州 火山防災の日」を記念したイベントを開催 ・実施日:令和6年9月14日 ・内 容:火山防災教室(火山灰観察、自然災害体験車、火山泥流実験) 講 演 会(基調講演、噴火体験談)	R6.9

	種類	実施項目	実施主体	概要	要	実施時期
21	広報活動	火山防災に関する広報活動	長野地方気象台(信州大学教育学部と共催)	「おてんき・ぼうさい教室」にて気象庁火山業務などについて周知啓発を行った。		R6.10.5
22		火山学習教室の開催	岐阜県	焼岳火山学習教室を高山市立栢尾小学校にて開催 参加者:高山市立栢尾小学校全校児童39名 講師:金沢大学教授 酒寄淳史、平松良浩、高山市民防災研究会 内容:焼岳の麓の小学校である栢尾小学校の児童に、火山についての理解を深め、火山と共存する地域づくりを進めていくことを目的に実験等体験学習を交えた学習教室を開催		R7.2
23	会議・講座等	火山防災に関する講義	長野地方気象台	長野県警察学校にて火山防災に関する講義を行った。		R6.6.5
24		教養の発出	岐阜県警察本部	本年度、火山防災の日が制定されたことを受け、部内教養資料を発出し、県警組織内において、周知を図るとともに火山防災意識の高揚を実施		R6.8.8
25		火山防災に関する講義	長野地方気象台	長野県消防学校にて火山防災に関する講義を行った。		R6.8.19
26		火山防災に関する講義	岐阜地方気象台	岐阜県消防学校にて、防災知識(地震火山、気象)普及に向け講義を実施。		R6.8.20
27		御嶽山噴火時の経験談教養	松本警察署警備課	御嶽山噴火後、実際に現場で救助活動を行った経験のある署員による教養を他の署員に対し行い、火山対策の意識付けを行った。		R6.9
28		火山防災協議会等連絡・連携会議への参加	岐阜県、長野県、高山市、松本市、飛騨県事務所、松本地域振興局他	火山防対策の一層の推進と、長野県内火山防災協議会の連携を促進するため開催。「各省庁の取組」、「各火山地域による火山防災対策に関する取組事例」、「有識者との意見交換」		R6.11.6
29		火山防災協議会に参画する火山専門家等の連携会議への参加	岐阜県、長野県、高山市、松本市、飛騨県事務所、松本地域振興局	火山防対策の一層の推進と、長野県内火山防災協議会の連携を促進するため開催「各省庁の取り組み」、「火山防災協議会における火山専門家の取り組み等」		R6.11.7
30		火山防災に関する講義	岐阜地方気象台	岐阜県警にて防災対策業務に従事する職員へ、防災知識(地震火山、気象)普及に向け講義を実施		R6.11.15
31		水蒸気噴火研究集会への参加	松本市 長野県	R6年6月の火山の状況に関する解説情報(臨時)が発表された際の、松本市の行政対応について説明		R7.1.14~15

3 その他

	種類	実施項目	実施主体	概要	要	実施時期
1	火山活動監視体制	火山活動監視体制	東京管区気象台(気象庁地震火山部火山監視課火山監視・警報センター)	地震計・空振計・傾斜計・GNSS・監視カメラ等による火山活動の監視を行うとともに光波測距等の現地調査を実施した。得られた観測データを基に火山活動の評価を行い、評価結果について火山噴火応急対策支援 サイトの火山活動解説コメントで協議会構成機関にお知らせするとともに、毎月の火山活動 解説資料等を作成・公表した。		通年
2		焼岳周辺の地殻変動監視	国土地理院	国土地理院が設置する電子基準点網(GEONET)及びだいち2号(ALOS-2)による干渉SAR技術を用いて地殻変動を監視し、火山噴火予知連絡会等に報告		通年

種類	実施項目	実施主体	概要	実施時期
3	火山対策総合アドバイザーの任用	長野県危機管理部	火山に関する知見や、研究者、研究機関との情報共有を促進し、より一層の火山防災対策を推進するため、土井恵治氏(元気象庁地震火山部長)を任用	R6.4~
4	災害用倉庫の点検及び再整備	松本警察署 警備課第一係	焼岳の火山性地震回数増加に伴い、迅速かつ効果的に災害対策装備機材が活用できるよう、倉庫内の装備品点検及び倉庫内の再整備を行った。	R6.6
5	防災体制の強化 物資配備	松本市	<ul style="list-style-type: none"> 避難者用のヘルメット100個を上高地消防隊詰所兼備蓄倉庫に配備 噴火警戒レベル2上昇に備え、登山口規制のためのカラーコーンとバーを配備 規制表示看板(レベル1)を更新 	R6.6~10
6	避難促進施設の防災体制の強化	新穂高ローウプエイ	施設内備蓄品の有効期限の確認及び拡充 <ul style="list-style-type: none"> 防災ヘルメットの配備 40個 飲料水・ラジオ・軍手・懐中電灯・ストーブ・灯油・カイロ・保温シート・携帯トイレ等 非常食 	R6.11
7	「火山防災の日」制定記念イベントの開催	内閣府 火山防災強化推進都道県連盟(岐阜県参加)	活動火山対策特別措置法の一部改正により8月26日が「火山防災の日」と定められたこと等を踏まえ、内閣府及び県が参加する火山防災強化推進都道県連盟が主催で「火山防災の日」制定イベントを共催。 ※次年度以降は同連盟加盟の各都道県毎に開催 場 所: 砂防会館(会場+オンライン) 内 容: 基調講演、事例紹介、トークセッション	R6.8.26
8	火山研究人材育成の為の学生実務研修生(インターンシップ)の受け入れ	岐阜県	次世代の火山研究者育成の為、火山研究人材育成コンソーシアム(事務局:東北大学)より、インターンシップ3名を受け入れ <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県の火山防災に係る講義及び意見交換 岐阜県地方気象台による講義及び意見交換 高山市立栢尾小学校における火山学習教室の実施 火山有識者(金沢大学 酒寄教授、平松教授)との研究についての意見交換 	R6.10.3~4
9	令和6年度ぎふ結のもり防災教育フェア安全登山火山防災講演会の開催	岐阜県	登山者等への安全登山及び火山防災の啓発を目的に開催 場 所: 岐阜県庁舎1階ミナモホール 参加者: 会場110人 YouTubeライブ配信+アーカイブ動画 約8,200回再生(12/9時点) 講 師: 防衛大学校 加藤 健 株式会社ヤママップ 矢島 夕紀子 株式会社山と溪谷社 萩原 浩司	R6.11.9
10	県・市町村火山防災行政担当職員研修の開催	岐阜県	火山防災に従事する県内市町村、隣県及び隣県市町村の行政職員の知識向上及び、平時からの「顔の見える関係」の構築を目的に実施(予定) <ul style="list-style-type: none"> ■R7.2.3 <ul style="list-style-type: none"> 避難計画と退避壕について 山梨県富士山科学研究所 吉本 充宏 平成26年の御嶽山噴火時の対応について 山梨大学 南沢 修 火山災害時の登山者の安全確保対策について 防災科学技術研究所 宮城 洋介 ■R7.2.4 <ul style="list-style-type: none"> 火山活動データの読み方 名古屋地方気象台 仲岡 茂 御嶽山への退避壕設置と山小屋改修について(事例発表) 下呂市危機管理課 火山についてのワークショップ 	R7.2.3~4